



# 進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様を、マップに掲載していく形でご紹介します！



## ■ 新しい村の井戸と手押しポンプ

新しい村には井戸と手押しポンプがあります。夏になると子どもたちがじゃぶじゃぶ水を出している光景が見られますね。ちなみに新しい村には計4つの手押しポンプがあります。お子さんと一緒に探してみると楽しいかも♪(1つは水が出ません)

## ■ 町外・団体・サークルの皆様

- ・CAFE パロキア (久喜市菖蒲町)
- ・久喜市菖蒲文化会館アミーゴ (久喜市菖蒲町)
- ・入間市文化創造アトリエAMIGO! (入間市仏子)
- ・象設計集団 東京事務所 (東京都狛江市)
- ・象設計集団 十勝事務所 (北海道河東郡音更町)
- ・沖縄県今帰仁村役場 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- ・今帰仁村歴史文化センター (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- ・(一社)今帰仁村観光協会 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- ・(株)国建 北部事務所 (沖縄県名護市宮里)
- ・森の交流館・十勝 (北海道帯広市)
- ・(株)ふれあいクラブ (宮代町宮代台)
- ・(株)彩和とらすとサービス (白岡市小久喜)
- ・杉戸町障がい者支援センター (杉戸町清地)
- ・日の出 (幸手市中)
- ・(株)おおば保険事務所 (春日部市中央)
- ・白田陽介税理士事務所 (久喜市久喜東)
- ・～語りと和楽の芸人衆～ かたりと (東京都北区)
- ・(株)カンパニーヒュッグ (春日部市上蛸田)
- ・(有)大城産業 (茨城県古河市)
- ・(有)今帰仁城 (茨城県古河市)
- ・(株)シェアリッチ株式会社 (茨城県古河市)

## ■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！(50音順)

- |          |         |              |             |            |           |
|----------|---------|--------------|-------------|------------|-----------|
| ・内野自治会   | ・逆井地区   | ・中央第1町会      | ・東地区自治会     | ・宮代1丁目1町会  | ・若宮自治会    |
| ・笠原2丁目町会 | ・桜木町    | ・中央第2町会      | ・東桑原自治会第1地区 | ・宮代1丁目第2町会 | ・和戸1丁目町内会 |
| ・金原地区自治会 | ・宿地区    | ・ディアコート宮代自治会 | ・東桑原自治会第2地区 | ・宮代学園台自治会  | ・和戸2丁目1   |
| ・川端一区自治会 | ・新中町会   | ・道佛1区町会      | ・姫川二区自治会    | ・宮代台自治会    | ・和戸2丁目2区  |
| ・川端二区自治会 | ・新道三区町会 | ・道佛3区町内会     | ・宮代姫宮北団地自治会 | ・桃山台自治会    | ・和戸3丁目    |
| ・川端三区自治会 | ・新道第一町会 | ・中須地区        | ・姫宮南団地自治会   | ・山崎地区      | ・和戸4丁目1区  |
| ・国納北     | ・新道第2町会 | ・中寺地区自治会     | ・藤曾根地区      | ・柚ノ木1      | ・和戸4丁目2区  |
| ・国納南     | ・辰新田町内会 | ・西原自治会       | ・弁天町        | ・柚ノ木二区自治会  | ・和戸5丁目地区  |

※ 進修館だよりは、進修館および青文字の場所で入手することができます。  
※ 各所の配架数には限りがあります。各所の在庫については進修館にお問い合わせください。



# Community Center Shinsyukan 進修館だより

2024  
8  
月号



## ■ 8月号の目次

- 1P: 表紙「進修館と井戸と手押しポンプ」
  - 2P: 「地区自治会におじゃまします！」
  - 3P: 「みやしろ公園 再発見！」
  - 4P: 「進修館NEWS」
  - 5P: 「進修館NEWS」
  - 6P: 「まちの皆様インタビュー！」
  - 7P: 「田沼さんの 進修館のあんなこと、こんなこと」
  - 8P: 裏表紙「進修館だより交流マップ」
- ヒュッグ アーティスト紹介: 西村翔太郎さん  
台湾から進修館の見学にいらっしゃいました  
「今月の気になったコト」  
「沖縄県 今帰仁村だより」  
「『斎藤甲馬と宮代』販売のお知らせ」  
無料見学デーのお知らせ  
公式HPリニューアルとLINE開始

進修館だより 2024年8月号 (第41号) 第1版: 2024/07/29 発行  
 発行元: 宮代町立 コミュニティセンター進修館  
 (指定管理者: 特定非営利活動法人 MCAサポートセンター)  
 住所: 〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL: 0480-33-3846  
 URL: <https://www.shinsyukan.or.jp> E-mail: [info@shinsyukan.or.jp](mailto:info@shinsyukan.or.jp)



# 地区自治会におじゃまします！

このコーナーでは、宮代町内の地区・自治会の取り組みや地域の特色などをお届けいたします。

## ◆ 金原地区自治会

自治会情報 [ 金原地区自治会 ]

【構成】  
74世帯




祭りの後片付けをする地域のみなさん。社社の裏手にあるのが集会所です。



集会所内には写真や賞状などが飾られ、さながら地区の資料館のようです。

緑が多く、思わず深呼吸したくなるような金原地区には、広大な芝生を有するはらっパーク宮代もあります。取材に伺った日は、地区の集会所と隣接する稲荷神社の例祭の日で、五穀豊穡と地域の安寧を祈願する祭礼が行われていました。自治会活動とともに、歴史あるコミュニティについてのお話も伺うことができました。

るようにしています。こうした取り組みによって入会した若い人が積極的に活動に加わってくれているとのこと、「若い人でも、地域とのつながりを求めている人は結構います。ゆるやかに繋がっていることがいいのでしょう。」と役員さんはおっしゃっていました。

### 【敬老会で地域交流を図る】

金原地区自治会ではこれまで、地域敬老会は開催していませんでしたが、会への参加を通じて地域の交流を図ることにしたいと、新たに企画し準備を進めています。9月16日に開催される敬老会は、郷土資料館の協力を得て、金原地区の記録映像の上映会をするそうです。年配の方を敬い、昔を懐かしみながら「あんなこともあったね」などの話から交流ができればいい、との思いから、社会参加型活動の一環として、地域の若い世代や子どもたちも参加できるようになっているそうです。「こうした取り組みを通じて、集会所が地域のみなさん

にとって情報交換をする場になったらいい。」とは前出の役員さんの言葉です。金原集会所は、サークル活動などでの利用はあまりないとのことですが、八起会（はつきかい）という地域の方々がゆるやかなコミュニケーションをとる会の会場にもなっており、こうした地区での交流を通じて、近隣の方々とつながりも広がり、ひいては孤立を防ぐこともできるようでした。

### 【コミュニティが温かく受け入れる】

役員さんへのインタビューのあと、金原集会所の中を案内していただきました。室内にはたくさんの写真や賞状が掲示され、地区の方々のつながりの強さを感じました。また、祭りの手伝いに来ていた転入1年目という若い方にお話を伺うと、とても暮らしやすく居心地がいいとおっしゃっていました。今回の取材を通じて、金原地区では、積み重ねられたコミュニティの中に新たに加入する世帯がゆるやかに繋がっていることが感じられました。

## 今月の 気になったコト

このコーナーでは、宮代町内をいろいろ回っていた際に気になったモノ・コト・ヒトなどを取りあげていきます。

## ◆ 上海料理 龍盛房 さんの ドラゴンラーメン



「食べてみたいけど一人じゃ無理…」という方は、他の注文と合わせて数人でシェアするといいかも。

大学通り沿いにある中華料理店「龍盛房」さんで食事をしていると、必ずと言ってもいい確率で「うわあ〜」とか「スゲェ！」といった感嘆の声が聞こえてきます。その理由が、コチラの「ドラゴンラーメン」。麺の上に積まれたキャベツともやしで高さは25cm以上、チャーシューの厚さは3cmほどと、唸り声も納得のボリュームです。いわゆる「二郎系ラーメン」にあたるものですが、その味もラーメンマニアの折り紙

付き。ネット界限でも「ラーメン専門店じゃないのに、レベルが高い!」とか「町中華のラーメンとは思えない!」などなど、高評価の嵐です。量少なめの「ミニドラゴン」もあるので、気になる方は食べてみては？

### 【上海料理 龍盛房】

住所：宮代町本田1-3-21  
TEL：0480-31-9797  
営業時間：11:00~14:00  
17:00~22:00  
定休日：木曜日



# みやしろ公園 再発見！

宮代町内にはところどころに小さな公園があります。お散歩や子育てに。あなたの知らない公園を再発見！

## ◆ にじ広場

公園情報 [ にじ広場 ]

住所：東姫宮2丁目8番

遊具：なし

休憩：ベンチあり・東屋あり  
水道あり・トイレなし

備考：公衆電話があります。  
ローソンまで約400m。

姫宮駅西口徒歩7分。閑静な住宅地にある広場。遊具はありませんが、そこそこ広さがあるので、小さいお子様から大人まで利用方法は多種多様。キレイな東屋があるので仲間とお話したり、ベンチでポ〜ッとしたり。すぐ近くに“たご”のいる“たご公園”、“いか”のいる“いか公園”、恐竜のいる“姫宮東公園”があるので、お子さんと公園めぐりするのも面白そうです。



姫宮南団地エリア内には、特徴のある公園が4つもあります。その1つが、にじ広場です。



ゆったりとしたベンチエリア



子どもが走り回るのに最適な広場



水道は水飲み場つき



とてもキレイな東屋

## なきじんせん 今帰仁村だより

このコーナーでは進修館と交流のある沖縄県今帰仁村との交流の様子やさまざまな情報をお届けします。

## ◆ 古宇利島の駅 ソラハシ


今帰仁村の古宇利島は、直径約2Km、周囲が約8Kmの小さな島。古宇利ビーチやティーヌ浜（ハートロック）などの名所が多数あり、年間およそ100万人が訪れる観光地です。島内には、沖縄産の新鮮なフルーツや沖縄北部のものを取り扱った物産店やフードコートがある、ゆったりとできる観光施設「古宇利島の駅ソラハシ」があります。

「ソラハシ」という名称は、沖縄有数の絶景ポイント古宇利大橋を渡るときに、まるで空を渡るように感じる様と、人と人、事業と事業の架け橋になりたいという意味が込められており、「島民・村民・県民と観光客がふれあう場所づくり」をテーマに

「ソラハシは古宇利島を通じて日本と世界の架け橋になる」ことを目指しています。フリーマーケットやイベントを毎月開催することを通じて、観光客だけでなく地元の人々が関わるきっかけづくりをしているソラハシでは、8月12日には盆踊り大会を開催するため、準備を進めています。素晴らしい校歌を歌だけでなく形にして受け継いでいきたいということで、校歌に振り付けをしたことが始まりといわれる「校歌ダンス」や、沖縄の民謡の「古宇利ジントヨー」など、地域に根差した踊りをセレクトし、練習会などを通じてもつなぐりを行っているそうです。

沖縄県 今帰仁村

NAKIJIN VILLAGE



今帰仁村HPより引用



施設内にある「古宇利島ふれあいひろば」では、地元の人々による様々なイベントが開催されています。



古宇利ビーチに隣接する「古宇利島の駅 ソラハシ」は、島の観光拠点として多くの観光客でにぎわっています。



「古宇利島の駅 ソラハシ」のウェブサイトには、沖縄屈指の絶景ポイント「古宇利大橋」が掲載されています。

# 進修館 NEWS

## コミュニティセンター進修館

### 無料見学デー

8月15日(木)開催!

📷📱 撮影OK

進修館は象設計集団によって設計された世界的にも著名な建築物です。テレビやインターネットなど数多くのメディアでも取り上げられ、見学目的で来館される方も年々増加傾向にあります。

通常、進修館では館内を見学される際、「2Fロビーや光路、コロネード、テラスといった共用スペースは、(無料で)ご自由に見学いただけます。大ホールや

小ホール、その他の各部屋の見学は(有料の)施設利用申請をおこなっていただく必要があります。」とお伝えしていました。そのため、「ほんの少し中を見たいだけ」とか「写真を1枚だけ撮らせてほしい」といった見学来館者の方には、大変残念な思いをさせてしまいました。

そこでこの度、皆さまに進修館の館内

施設を自由にご見学いただける「無料見学デー」を実施することにいたしました。「無料見学デー」では、大ホールや小ホールなど、通常は利用申請を行わないと見学できない施設も無料(出入り自由)で見学していただく事ができます。

建築に興味のある方、イベント等での利用をお考えの方、聖地巡礼などなど、是非この機会をご活用ください!

	見学可能時間		見学可能時間
大ホール	11:00 ~ 12:00	食堂	14:00 ~ 15:00
小ホール	13:00 ~ 14:00	和室	14:00 ~ 15:00
集会室	10:00 ~ 16:00	茶室	14:00 ~ 15:00
研修室	10:00 ~ 16:00	談話室	今回は対象外です

- ※ ご利用は見学目的に限ります。占有(座り込みでの会話や作業、荷物・撮影機材の配置など、即座に移動ができない状態)は不可となります。
- ※ 個人で楽しむ範囲においての撮影、および、撮影した写真・動画の利用については、制限(許可の必要など)はありませんが、その範囲を超えて利用される場合は必ず進修館に連絡してください。利用する内容により、条件等を提示する場合があります。(不特定多数の人がアクセスできる画像・動画投稿サイトへのアップロード目的での利用は「個人で楽しむ範囲」外となります。)
- ※ 施設内の備品の操作や使用(照明・音響操作やパネル・椅子等の配置換え、食堂の食器類の利用など)はできません。

**その他の注意事項や、お問い合わせはコチラまで!**  
 進修館 1F窓口・2F窓口 ☎0480-33-3846 ✉info@shinsyukan.or.jp

## ホームページリニューアルとLINE開始のお知らせ



2024年7月23日に、進修館公式ホームページをリニューアルしました。情報の見やすさと充実した内容を楽しんでいただくことを心がけて運営していきます。また公式ホームページのリニューアルとともに、公式LINEもスタートしました。公式LINEでは、週1回のペースで進修館の様々な情報をお届けいたします。只今お友だち募集中です。ドシドシご登録ください!

また公式ホームページ、ならびに、公式LINEは、現在プレ運用中で、正式運用は8月1日からとなります。(公式LINEの初回配信は、8月7日予定。)

新しいホームページとLINE配信に、ご期待ください!



## カンパニー・ヒュッゲアーティスト紹介 第1回 ピアニスト 西村翔太郎 さん

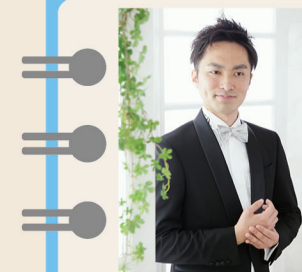
進修館の共催事業「ヒュッゲコンサート in 進修館」で素晴らしい演奏をご披露いただいているピアニスト西村翔太郎さん。今回は西村さんに「演奏家から見た進修館」について伺いました。

進修館は、人と音楽と建物が密接に関わっていると感じます。2階ロビーでは、ゆっくりお茶を飲みながら過ごしていて、たまたま会った方とあいさつを交わしたり、芝生広場で子どもたちが遊んでいたりと、写真を撮っていたり、催し物が開催されていたり、という風景の中に、人と人との温かい関わりを感じます。1階と2階があいまいでつながっているような感じですし、たくさんの入り口があるので、来た方がどんな入り方をしても自由ですね。そんな、決められていないあいまいなところから、自由な発想が生まれるように感じます。また、建物や土地全体が人と人とを結ぶような感じがしていますし、そういった空間で音楽をすることがとても魅力と感じています。

他の音楽ホールなどでは、舞台と客席というエリアの違いがあって演奏者との距離を感じることがあるのですが、進修館の大ホールや小ホールでは、そういった部分が取り払われていて、音楽と演奏者とお客様との3つの関係が密に感じられるところがとてもいいと思っています。演奏中にステージで孤独を感じることもある中、進修館ではお客様の反応を身近に感じられ、それがとても心地いいのです。とても素敵な空間だと思っています。



最近甘いものにはまっているという西村さん。演奏のために訪れた先では、地元のお店に行くそうです。お菓子選びもさることながら、お店でのささやかな会話も楽しみとのこと。演奏する前と後では体重が1~2キロ減ってしまうほどエネルギーを使うそうなので、甘いものでホッとひと息、といったところでしょうか。インタビューを通じて、ステージ上での演奏家としての顔とはまた違った、穏やかで優しいお人柄を感じました。



■西村翔太郎(ピアノ)  
 秋田県生まれ、埼玉県育ち。埼玉県立大宮光陵高等学校を経て、東京藝術大学および大学院を首席で卒業・修了。その後、イモラ国際ピアノアカデミー(伊)を修了。第14回東京音楽コンクールピアノ部門第2位及び聴衆賞、第7回 Euregio Piano Award(独)第2位ほか、数々の国内外のコンクールで入賞。「感情的かつ緻密さを兼ね備えた音楽家」と称され、多岐の分野にわたり好評を博す。東京藝術大学、桐朋学園大学、大宮光陵高等学校、桐朋女子高等学校[男女共学]各非常勤講師。

## 台湾から進修館の見学にいらっしゃいました

2024年7月3日、台湾の中原大学(Chung Yuan Christian University)の造園学科(Department of Landscape Architecture)の許宜珮先生とその学生9人が進修館の見学にいらっしゃいました。中原大学の来館は、2023年に続き2回目となります。まずは進修館の建築

や運営についてお話しした後、館内をじっくりご覧いただきました。当日は進修館を設計した象設計集団東京事務所から建築家の関郁代さんも同席され、進修館や笠原小学校なども含むエリアのグランドデザインに関するお話を伺うことができました。

引率された許先生は、「台湾の設計やコミュニティの作り方とはちょっと違う。今回の経験やマテリアル(素材)を持ち帰って、学生たちがデザイナーになったとき、進修館での経験はビッグヘルプ(大きな助け)になると思います。」とおっしゃっていました。



小ホールで記念撮影



象設計集団の関さんによる座学



和室の視察の様子

## まちの皆様インタビュー！

進修館をとっても大切に、「後に伝えたい大切な建築遺産」だとおっしゃっている手島互さんは、コミュニティを重んじ、様々な集まりに関わっていらっしゃいます。その手島さんもメンバーとなって制作された「齋藤甲馬と宮代・世界のどこにもないまちを創る」という書籍は、宮代町の初代町長・齋藤甲馬氏の生涯や功績、人柄などを、資料やインタビューを通じて客観的にまとめた名著です。今回は、この書籍の制作に関することを中心に、手島さんにお話を伺いました。

### 【「齋藤甲馬という人がいた」ということを伝えたい】

手島さんは宮代町の初代町長・齋藤甲馬さんについて、「町の体質を変えてしまうような世の中の動きには勇気をもって乗らず、宮代町の基礎をつくった人」と表現しています。1955年(昭和30年)、須賀村と百間村が合併して宮代町が誕生と同時に初代町長となり、以来1982年(昭和57年)87歳で永眠するまで27年間、宮代町長を続けられた甲馬町長は、町民を大事にして、人々のコミュニティや教育に力を入れ、その理念を基に多くの事業を実施しました。また、進修館や笠原小学校を設計した姪の富田玲子さんに、事務所の経営が立ち行かなくなった時の糧にと、ご自身が所有する春日部の土地を生前贈与していました。富田さんは、その土地の売却費用を、宮代町の人のために活かして使ってもらいたい、齋藤甲馬と宮代に関する資料を集めて後に



手島さんの仕事場の入り口に様々なジャンルの本やCD、ポスターなどがたくさん置かれているのを見ると、お話から伝わる知識の深さやその活動の幅広さが納得できます。



甲馬さんの自邸は宮代町郷土資料館に残されています。この敷地内でキャンベルというブドウを栽培して農家に広めたことで、宮代町がブドウの産地となったそうです。



お話を伺った手島互さんが制作委員を務めた本！ 詳細は進修館HP・公式LINE等でお知らせします。  
**「齋藤甲馬と宮代・世界のどこにもないまちを創る」を進修館窓口でも販売します!!**

宮代町の将来あるべき姿を常にイメージし、宮代町の体質を変えるような世の中の動きに背を向けて、町の身の丈を意識しつつ向き合い続けた齋藤甲馬町長。その生涯の生活やユニークな言動、思想は、混沌とした今の時代にも「よく生きるヒント」を含むものです。多くの資料調査や収集、甲馬さんと交流のあった多くの方々への聞き取りなどを基に2011年10月に発行された本書を、ついに進修館窓口でも販売します。

伝えたいというお気持ちを持っておられ、手島さんにも声がかかりました。様々検討した結果、書籍として残すという方針になり、2007年に編集会議を開催し、制作委員会がスタートしました。

### 【じっくり時間をかけて制作】

最初は1年くらいでできるかと思っていた制作作業ですが、資料集めとインタビューに時間を費やし、結果的には3年の時間がかけれ、また、完成を目前に東日本大震災が起り、発行にはさらに時間を要しました。制作委員会のメンバーは手島さんと富田さんのほか、写真家の北田英二さん、ブックデザイナーの春井裕さん、編集者の真鍋弘さん、象設計集団の向井蘭さん。手島さんと向井さんが自転車で町内をぐるぐる回ってロケハンし、北田さんが撮影する写真の下準備を行いました。またインタビューの候補者を探し、対象者をとの交渉を行いました。インタビューの時はできる限り富田さんが同席し、北田さんは折々の風景の変化を撮影するために同じところを複数回撮影するなど、取材はじっくり時間をかけて進められました。「インタビューしていると、その作業が面白くなってきた」とおっしゃる手島さん。本が出来上がる頃には甲馬さんの没後30年に近づいていました。

### 【「甲馬サロン」を企画開催】

こうして2011年10月に刊行されたこの本は、2000部を宮代町に寄贈して、手元に少し残し、発行と同時に記念して開



催した「甲馬サロン」を通して広報に役立てています。このサロンは甲馬さんが目指した人々のコミュニティを深め、広げることがを願って、いろいろな企画で開催、17回を数え今も継続しています。また町に寄贈された本は、郷土資料館や宮代町役場窓口などで販売されています。

【「提示」する書籍として】  
手島さんがこの本を作るにあたって大切にしていたのは、「齋藤甲馬という人が宮代町にいたということを提示すること」とのことです。「客観的に提示をして、あとは読み手が様々なことを感じてほしい」「コミュニティ、自然環境、他とは違う町であることの大切さ、などそこに書かれていることからそれぞれが感じてもらえたらいいと思っている」とおっしゃっていました。

【「甲馬サロン」を企画開催】  
こうして2011年10月に刊行されたこの本は、2000部を宮代町に寄贈して、手元に少し残し、発行と同時に記念して開

## 教えて、田沼さん！「進修館のあんなこと、こんなこと」第1回

このコーナーでは、進修館の建設時に宮代町役場職員として関わった田沼繁雄さんに、当時のエピソードなどを伺います。

進修館には、象設計集団が作成した設計図面の青焼きが保管されています。躯体全体を描いたものから「大ホール」などの文字やブドウ柄のガラススタイルなどの小さな物に至るまで、様々な図面がありますが、どれも手描きで温かみがあり、デッサン画のような美しさがあります。しかしながら、図面は平面で描かれているため、進修館のような複雑で大きな建築を図面だけでイメージするのはなかなか難しそう…。当時の役場の方々はどうだったのでしょうか？田沼さんに聞いてみました。

田沼さんによると、当時は図面からどんな建物ができるかを想像することが難しかったため、「一体どんなものができるんだ?」と

議員から質問が出ることもあったそうです。「それなら、事務所に模型があるそうだから見に行ってみよう」ということになり、齋藤甲馬町長や議員、役場職員で町のバスに乗り込み、新宿にあった象設計集団の事務所を訪問したのだそうです。進修館建設の担当者だった田沼さんも、もちろん同行しました。事務所に1/20サイズの大きな模型があり、それを前に設計者たちがどのような建物になるかを説明してくれました。一行は説明を受けながら、模型の中をのぞき込んだり、斬新なデザインに驚いたり…。その時撮影された写真からは、子どもが入れそうなくらい大きな模型を囲み、熱心に説明に耳を傾ける様子が見て取れます。



元宮代町役場職員・田沼繁雄さん  
ひとしきり説明を受け、帰りのバスに乗り込んだとき、「なんだかよくわからないけど、すごいものができるんだね」と言っていた言葉が、田沼さんは印象に残っているそうです。「世界のどこにもないもの」として設計された進修館ならではのエピソードです。



象設計の事務所で模型を囲む一行。最前列には齋藤甲馬町長も。



模型の前で語り合う、象設計集団の富田玲子さんと田沼さん。

## みやしろ町のいろいろ

### ◆ 進修館開館当時(1980年)の航空写真



1980年10月撮影の航空写真です。当時、進修館の北側、現在の「四季の丘」がある場所の上半分には、宮代町役場がありました。今は芝生広場とも言われていますが、当時は「広場」というより「中庭」という認識だったようです。中庭を役場と進修館で囲むような感じになっていたため、当時の設計ポイントには「北側の中庭の陰になる部分を少なくするような屋根の断面とした。」というのもあったそうです。2フロビーにたくさん光が入り込む設計になっているのも、その一環かもしれないですね。

宮代町の気になる場所を訪問したり調べたり。雑学を交えつつ宮代町のいろいろを見てみました。